



## 第49回衆議院議員選挙

## 新内閣誕生から衆議院解散、総選挙の中で重点政策を訴える



9月末に行われた自民党総裁選挙の結果と菅内閣の総辞職に伴い、10月4日、第205回臨時国会が召集され、同日には岸田新内閣が発足しました。しかし、任期満了を目前に控える中で会期末の14日には衆議院が解散され、19日公示、31日投開票の衆議院選挙に突入することとなりました。

今回の選挙では、今後の新型コロナウイルス対策や経済政策などが主な争点となることから、矢田議員は「積極財政」への転換で給料の上がる経済の実現などの政策を訴え、選挙戦に臨む全国の仲間の応援に駆け巡りました。

### ◆第205回臨時国会と衆議院解散・総選挙

臨時国会初日、午後の衆参本会議の首班指名選挙によって新首相が選出され、以降、所信表明演説、与野党による代表質問が行われました。

参議院本会議での会派代表質問では、大塚代表代行より、矢田議員が日頃から重点を置く半導体産業の国内振興支援策や中間層再生のための税・社会保険料負担軽減策などを取り上げていただきました。

野党は本国会において予算委員会の開催を要求していましたが、与党はこれに応じず、会期末をもって衆議院は解散となりました。現在、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言等が解除されて間もなく、衆議院の解散中における参議院の役割はより重要となります。



### ◆国政選挙の機会を通じ多くの声に耳を傾ける

この衆議院選挙は、矢田議員が所属し、昨年9月に再始動した国民民主党にとって初めての全国的な国政選挙となりました。国民民主党は、コロナ禍から立ち上がろうとする今こそ、経済政策を「積極財政」に転換し、経済・社会をもう一度動かすときだと考え、未来を先取りする「新しい答え」を提案します。

国民民主党の「政策」 <https://new-kokumin.jp/policies>



この衆議院選挙の選挙期間中、矢田議員は政策の一つひとつを全国の有権者の方々に訴え、選挙戦で奮闘する仲間を精一杯応援してきました。

選挙の結果、国民民主党は、解散前の8議席を上回る11議席を確保することができました。ご支援に感謝申し上げます。なお、選挙結果に関する私の見解は、矢田わか子ホームページをご覧ください。

### ◆矢田議員からのメッセージ

来たる臨時国会に向け、コロナ感染の第6波に備える対策強化とともに、日本経済の回復を図るべく、「給料の上がる経済」の実現と「科学技術・教育予算の倍増」や「人づくり」のための政策推進に全力を尽くしてまいります。  
矢田わか子



# 電柱地中化の課題



矢田議員が掲げている政策の3本柱「働く」「暮らす」「育てる」の中から、国会で審議されている等のホットな話題を選び、政策コラムとしてお届けします。

**東** 京オリンピックの札幌でのマラソン競技では、一部のコースで電柱と張り巡らされた電線がテレビ中継に映り、電柱地中化の遅れが世界に発信されました。日本人にとっては、電柱や電線はさほど気になりませんが、欧米やアジアの主要都市では電柱のない街路は当たり前になっています。電柱は、狭い歩道では自転車や車イスの通行の妨げになり、地震や台風の時には倒壊や電線切断といったリスクも生じます。また、電気配電線、電話や光ファイバーなどの通信線、有線放送やケーブルテレビなど、電柱に架かっている電線が蜘蛛の巣のようにになっている地域もあり、街の景観を大きく損ねています。

**我** が国では、2016年に「無電柱化推進法」が成立し、共同溝方式による地中化工事が進められていますが、残念ながらこの事業は遅々としており、逆に、電柱は毎年7万本増えているという状況です。

**用** 地買収や工事にかかる膨大な費用が、この事業推進のネックになっているわけですが、このコストをどの主体がどのように負担していくかを議論していく必要があります。電力会社や通信事業者への過度な負担は利用料金の引き上げに繋がり、一方で、この事業は地域の活性化にも寄与しますので、国・自治体・宅地開発事業なども含め、適正な分担を調整していくべきです。

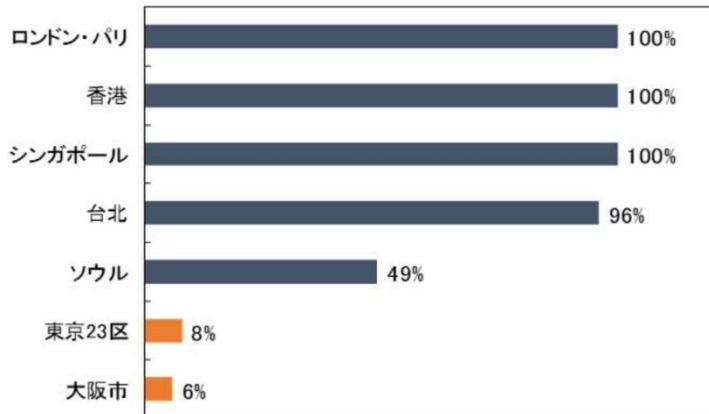
**こ** 支援をいただいている電線産業の労働組合からもこの事業推進の要望を受けていますが、今後も電柱地中化のメリットを訴え、国としての必要な予算確保に尽力してまいります。



## 「日本の電柱地中化は海外に比べてどのくらい遅れているの？」

ヨーロッパやアジアの主要都市では無電柱化が概成しているのに対して、日本の無電柱化率は東京23区で8%、大阪市で6%と大きく立ち遅れています。「電柱地中化後進国」に甘んじている日本ですが、国交省や経産省は、埋設方法の変更や埋設に必要な機器・設備の改良などのコスト低減に知恵を絞っています。とりわけ埋設方法を「電線共同溝」から「直接埋設」に切り替えることによる低コスト化が期待されています。「直接埋設」は、海外の「電柱地中化先進国」で採用されており、日本でも国や地方自治体による実証実験が始まっています。

欧米やアジアの主要都市と日本の無電柱化率



(出所：国土交通省ホームページより)

## 公式HP・SNS(Facebook・Twitter・YouTube)もご覧ください

公式HP



「矢田わか子」公式サイト  
日々更新中です。皆さんの  
お声をお寄せください。

YouTube



やたわかチャンネル  
国政での発言、政治問題の解説  
など多数アップしています。

twitter



矢田わか子  
(国民民主党参議院議員)  
矢田わか子を  
応援する会  
国会質疑・トピックスを掲載中！

facebook



☺ フォロー & チャンネル登録をお願いいたします ☺